

宇部幸楽苑広報紙

幸 楽 苑 だ よ り

4月号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和6年4月1日
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522

『新年度を迎えて思うこと』

宇部幸楽苑 看護師長

森田 美子



灰色がかった冬の風景から一変して、色とりどりの花が美しく咲き乱れる時季となりました。

新しく就職された皆様、入職おめでとうございます。

今年はずれしいことに、当苑でも3月まで学生さんであった新人さんが入職されます。1日オリエンテーションに来られた短い時間でさえ勤務中の職員はソワソワしていました。これから、男性職員は出勤前に鏡に向かう時間が増えるのではないのでしょうか？（笑）

私は、当苑にお世話になり、多職種の方に支えていただきながら3年目の春を迎えることができました。就職して感じている3つのことをお伝えしたいと思います。

【1つ目は、職員は利用者様と真剣に向き合っているということ】

当苑は、約100名の利用者様が入苑されていますが、職員は普段の様子をよく観察しており、少しでもいつもと様子が違うと感じた時

は、直ちに看護師に報告、看護師の初動の適切さで大事に至らなかつた事例が数多くあります。入苑されている利用者様に安全に生活していただくためには危険予知、異常の早期発見・対処が重要ですが、急変時対応の勉強会や急変時の振り返りを行っていることで、知識・医療処置が職員の身につけていることを実感しています『医療のできる老健』としてアピールしていきたいと思っています。

【2つ目は、私たち医療・介護の世界もめまぐるしく変化しているということ】

昨今は、近隣でも施設が淘汰されている情報を耳にします。ナイチンゲールも『進歩し続けないう限りは後退していることになると』と言っていますが、施設が存続していくためには、現状分析と先を見据えた対策を立て、積極的にチャレンジしていくことが必要だと思います。

【3つ目は、自分たちは組織の一員であるということをお覚して働く必要がある】ことです。

和同会は、宇部市・山口市・防府市・広島市に病院・医療施設・福祉施設を展開している大規模な組織です。一致団結して組織力を強みとして取り組んでいくことが望ましいと思っています。

新人さんは、これから知識・技術を習得していかれると思いますが、一番根底に持ち続けてほしいことは、相手を思いやるやさしさです。私は今まで『やさしさだけでは、看護はできない。しかし、優しさがなければ看護ではない』と研修で学んだことを心に刻んで看護をしてきました。

これからも、全職員が温かい血の通った関わりを行い、利用者様に毎日を平穏に笑顔で過ごしていただけるように援助していきたいと思っています。





「ひなもん展に行きました」

宇部あかり園にて2月27日～3月8日開催されていた『ひなもん展』に行きました。「ひなもん」とは、山口県山口市阿知須地区にて手作りで製作される吊るし飾りで、福岡県柳川市の「さげもん」を手本として製作が始まりました。子どもが生まれたお祝い、健やかな成長、長寿を願って作成されているようです。写真のように展示物を入所者様と見に行きましたが、作品の量、綺麗さに感動されていました。ほんの一部ですが写真をご覧ください。

「徒然なるまきに…」

介護士 石永 和也

三年前の身体測定で体重が85キロ。これはまずいと思い一念発起してダイエットを開始しました。一年ぐらいで75キロまでは落ちたものの、そこからいろいろやっても体重は減りませんでした。体重は増えもしないので悪くはないのですが、もう少し体重を落としたいと思っていたのでいろいろ試してみました。それが決め手だったのかは分かりませんが、食事にオクラを加えたところ体重が再び減り始め、65キロまで落ちました。現在もリバウンドせずに、体重は65キロ前後を維持しています。三年前に比べて体が軽くなり、同じぐらい体を動かしても疲れにくく、仕事がいやしくなりました。



《基本理念》

私たちは介護・医療提供者として、常に、地域社会における利用者並びにご家族の立場に立って考え、最善の行動とサービスの提供を致します。

《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。